

- (1) ねらい 身近な動物をどのような特徴に着目して分類したかについて説明し合う活動を通して、動物の体のつくりに着目すると、より確かな根拠をもって分類できることに気付き、自分の分類結果について再検討することができる。
- (2) 評価規準 動物の体のつくりに着目すると、より確かな根拠をもって分類できることに気付き、自分の分類結果について再検討している。(主体的に学習に取り組む態度)
- (3) 学習展開 (1/5)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	<p>1 自分とメダカは仲間であるか考え、その根拠となる特徴を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分は陸、メダカは水中で生活します。 自分はお母さんから産まれた。メダカは卵で生まれます。 	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の動物の写真を用いて動物カードを作成し、それらを配置したGoogle JamboardをClassroomにて生徒に配付する。班ごとに1つのJamboardを割り当てる。
展開	<p>身近な動物を分類するには、どのような特徴に着目するとよいだろうか。</p> <p>2 個人で動物进行分类する</p> <ul style="list-style-type: none"> どこで生活しているかで分けてみます。 生まれ方で分けてみます。 体のつくりで分けてみます。 <p>3 分類結果を班で共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> エラで呼吸するか、肺で呼吸するかで分類しました。等 <p>4 班内で納得できた分類を選び、その理由を班→全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> お母さんから産まれるか卵で産まれるかは動物によって決まっているはずだから、生まれ方に着目した分類に納得できます。 エラで呼吸するか肺で呼吸するか、一部分からない動物がいるけれど、多分決まっていると思うから、呼吸の仕方に着目した分類は納得できました。 <p>5 気付いたことを基に、自分の分類を再検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体の表面のつくりに着目して分類すると、うろこがあるか、毛があるかなどで分けられるから納得できました。 呼吸の仕方に着目すればよさそうだったけれど、カエルはおたまじゃくしの頃はどやうやって呼吸するのだろうか。 	
終末	<p>6 本時の振り返りを行う。</p> <p>はじめは食べ物の違いで分類していました。しかし〇〇さんの「メダカなどはエラで呼吸、カエルなどは肺で呼吸しているから、体のどこで呼吸するかで分類した」という発言から、体のつくりの特徴で分類すると正しく分類できそうだと思います。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りの場面でFormsを使用する。ルーブリック評価を位置付け、本時のどのような場面で「できた」「分かった」のかという視点で振り返りを行うようにし、自己の学習を調整する力を見取り、評価する。